



TOYO ELECTRIC CORPORATION

第86期

上半期報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

CONTENTS

トップインタビュー

1 サステナブルな社会の実現に 東洋電機は貢献します。

- | | |
|------------|---------------|
| 4 トピックス | 9 優待制度変更のお知らせ |
| 5 セグメント別概況 | 10 会社概要／株式状況 |
| 7 連結決算概要 | |



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード：6655

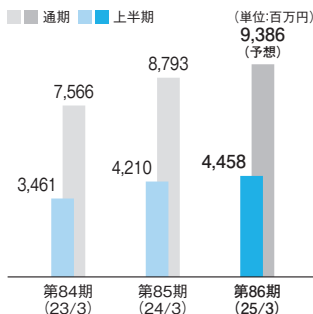


サステナブルな社会の実現に 東洋電機は貢献します。

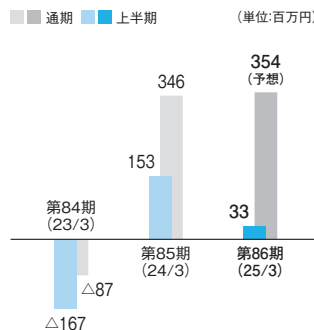
代表取締役 社長執行役員 **松尾 昇光**

連結決算ハイライト

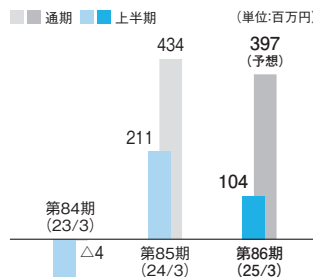
売上高



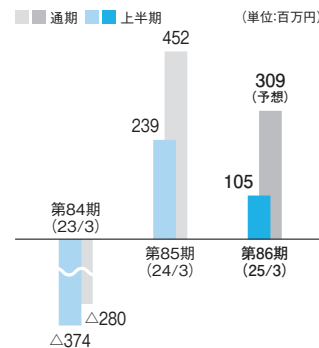
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する純利益



「グリーンイノベーション」という言葉をご存じでしょうか。環境への影響を抑えつつ、サステナブル＝持続可能な社会を実現するために、アイデアや技術の導入を目指す新しい動きを指しています。今、当社グループの売上を見ると、環境や資源の制約を先取りし、お客様の省電力・省エネの願いを達成して、社会が求める脱炭素のうねりに貢献する製品が評価を受けています。当社グループが持続可能な成長を実現するためにも、社会やお客様の課題に解決策を提案できる企業グループであり続けたいと願っています。私たちに何ができるのか、足元から見つめ直していかなければなりません。

Q1

企業の設備投資は本来の動きに戻りつつあるのでしょうか。最近の動向をお聞かせください。

当上半期は、計画値どおりの数値をほぼ維持できました。カーボンニュートラルに向けた脱炭素の高まりもあって、省電力や省エネに寄与する設備投資への意欲が旺盛で、対応できる製品を持つ部門が売上を伸ばしています。

この間、足かせとなっていた部品調達難と

原材料価格の高騰も一段落し、高止まりが続いているものの、調達環境は改善され、納期に影響を与えることはなくなりました。原材料価格の高騰分については、顧客に再見積もりを含む価格改定のお願いを続けています。

コロナ禍などの影響で先送りしていた企業の設備投資もようやく動き出しています。

Q2

主力である国内の制御装置関連事業の動きはいかがでしょうか。

国内の制御装置関連事業は、エンジニアリング部門と変圧器部門が概ね好調を維持しましたが、機器部門で厳しい状況が続いています。

エンジニアリング部門では、監視制御装置と配電盤が大きく伸ばし、部門をけん引しました。ただ、この数年好調だった搬送制御装置と印刷制御装置は改善が見られるものの回復に至っていません。

機器部門では工業炉の熱源をガスから電気に変換する動きが加速し、省エネルギーをさらに進めるため、電力調整にヒータ温度制御機能を持つサイリスタ式の電力調整器の採用が進みつつあります。

変圧器部門では、脱炭素の動きが追い風となり、商標登録を取得した「サステナトランス」のもとで展開する製品群が順調に推移しています。

その中でも、アモルファス変圧器は特に高い評価を得ています。長時間使用される変圧器は、通常使用されていない待機中にも電力負荷がかかりますが、待機中の電力消費を削減できるアモルファス変圧器は省エネ・省電力に効果が得られます。

この変圧器は、大手自動車工場でも導入効果を検証中で、今後が楽しみです。

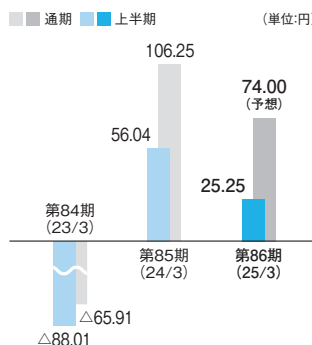
Q3

国内の連結子会社も再編されました。直近の動きについてもお聞かせください。

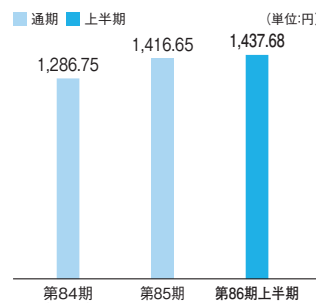
本年4月に連結子会社の東洋電機ファシリティーサービス(株)と東洋板金製造(株)の2社を当社に吸収合併しました。東洋電機ファシリティーサービス(株)は当社のファシリティー工部部として、配電盤や変圧器のサービス・メンテナンスを行い、東洋板金製造(株)はエンジニアリング部門の板金課として、配電盤などの板金加工・組立・販売を行っています。同じ屋根の下で仕事ができ、仲間としての一体感が生まれています。営業の引き出しも多くなり、新しい仕事を取ろうという動きにつながっています。2つの会社の間接部門も吸収し、経営上の効率化も進んでいます。

もう1つの連結子会社である東洋樹脂(株)は、自動車の在庫調整が一段落し、樹脂製品の試作品の仕事が入り、回復に向かいつつあります。

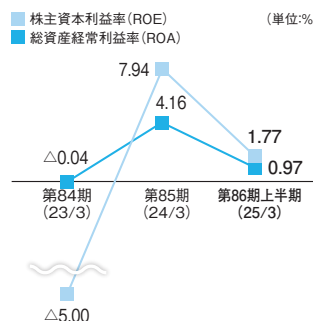
1株当たり純利益



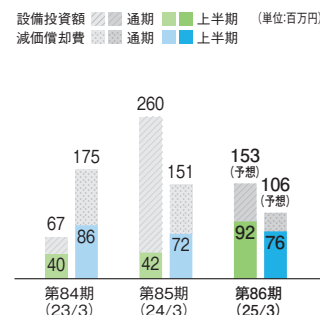
1株当たり純資産額 (BPS)



株主資本利益率 (ROE) / 総資産経常利益率 (ROA)



設備投資額/減価償却費





Q4

海外子会社2社による海外事業に変化はありましたか。

中国の南京華洋電気有限公司とタイのThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、それぞれの国内で景気の低迷が続き、苦しい状況が続いています。中国は不動産不況の長期化で日系エレベーターメーカーが軒並み苦戦しています。また、一時は好調だった電気自動車関連の設備投資も控えがちで、制御盤の需要も停滞しています。

タイは中国に比べると動きは見られるものの、力強さはありません。しばらく忍耐の時期が続くような状況です。

Q5

先頃、アドヴァンコーティング株式を取得しました。どのような狙いがあるのでしょうか。

当社にはMCC（モーターコントロールセンタ）のような大型の配電盤があります。これらは設計・板金・塗装・組立・検査・出荷の順で製作されますが、これまで板金塗装だけは外部に委託してきました。ところが外部作業のため時間がかかり、

納期が読めないケースもしばしば見られました。また、外部で塗装を行うため品質管理が行き届かない場合もありました。

アドヴァンコーティング株式会社とは以前より取引があり、仕事ぶりや品質にも信頼がおけました。同社が当社グループに入ることで一貫生産体制が出来上がり、納期がコントロールしやすく、塗装の品質管理も向上して、盤事業のボトルネックが解消されます。

同社には、住宅メーカーや自動車関連企業からの塗装依頼もあります。塗装では環境への配慮から溶剤塗装から粉体塗装への転換が期待されており、新たな“売り”になればと考えています。

なお、10月から1名が同社に出向しています。電気と塗装では、企業風土も異なるため、「従業員との信頼関係を築いて、グループのポテンシャルを高めてほしい」と言って送り出しました。

Q6

DX（デジタルトランスフォーメーション）が話題となっていますが、デジタル技術の活用による業務の効率化は進んでいるのでしょうか。

業務の効率化と活発化に向けて、新しい試みにもチャレンジしています。

最近では営業活動のDXを推進するため、キントーンを基盤に独自に開発した営業報告アプリを運用しています。このアプリにより、顧客情報や案件の見える化と共有が迅速化され、日報や案件進捗の一元管理がスムーズに行えるようになりました。また、名刺管理サービスを導入し、個々の名刺情報をチーム全体で活用可能にするとともに、営業報告アプリとデータ連携することで、情報がシームレスに共有される体制を整えています。加えて、マーケティングオートメーションツールとの連携により、メール配信や顧客分析も効率化し、営業戦略の精度向上にも貢献しています。今後は、バックオフィスや開発部門とも情報

連携を深め、基幹業務全体への展開を目指してDXを加速させていきます。

Q7

「サステナビリティ」が社会のキーワードになっています。グループの持続可能な成長に向けた抱負をお聞かせください。

企業の関心は「サステナビリティ」、つまり事業の持続可能性の追求にあります。これまで以上に社会の課題に目を向けることが求められています。当社においても目下の最大の関心事は、脱炭素のうねりにいかに寄与できるかにあり、積極的に当社の製品をアピールしていかなければなりません。

9月に東京ビッグサイトで開催した「国際物流総合展2024」では、「センシング技術を活用した物流過程の見える化」や「ネットワークの隣接関係から位置を推定する屋内位置測位システム」、「画面接触せずに操作でき、クリーンな作業環境を提供する空中タッチディスプレイを搭載した制御盤」が関心を集めました。10月に幕張メッセで開催された「第19回 [国際]太陽光発電展」では、「サステナトランス」と命名された自家消費型太陽光発電用変圧器が注目されました。10月にグランフロント大阪で開催された「第5回 工業炉・関連機器展&シンポジウム」では、次世代型のRPパラコンが注目を集めました。本装置は、サイリスタ(SCR)を用いた電力調整器で、フリー電源対応、各制御機能全内蔵、通信機能内蔵、CE対応など従来機を凌駕した次世代オールインワン型の製品です。社会が求める製品とサービスを今後も積極的に提案していきます。

なお、2025年3月期の通期連結業績予想は売上高9,386百万円(前期比6.7%増)、営業利益354百万円(前期比2.1%増)、経常利益397百万円(前期比8.7%減)、当期純利益309百万円(前期比31.6%減)を予定しています。

引き続き、株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

TOPICS

TOPICS 1

グループ会社紹介 「アドヴァンコーティング株式会社」



今回は当社グループの「アドヴァンコーティング株式会社」をご紹介します。1990年（平成2年）植村元彦氏により創業され2010年（平成22年）に前社長 植村氏により設立されました。2024年（令和6年）8月20日に当社が同社の株式を取得したことにより連結子会社となりました。主な事業内容はプラスチック及び金属部品の粉体塗装及び溶剤塗装と組立事業となりますが、現在は環境に配慮した粉体塗装を柱として事業展開しております。

アドヴァンコーティングは自動ラインを駆使し様々な塗装色を採用しているながら安定の品質レベルを確保しています。

今後も個性と自主性を重視し、働き甲斐ある職場づくりを目指して社会の発展に貢献してまいります。

TOPICS 2

名古屋証券取引所主催 名証IRエキスポ2024に出展しました

9月6・7日、名古屋証券取引所主催の個人投資家向けIRイベントに出展しました。東海地区の上場企業・証券会社を中心とした116社がブース展示や各種説明会を実施しました。

当社のブースには、2日間で約320名の投資家の皆様にご来場いただき、当社の事業内容や株主還元、新たな取り組みなどについてご理解を深めていただきました。

お立ち寄りくださった投資家の皆様、貴重なお時間をいただきありがとうございました。

今後も当社の取り組みや最新の状況を知っていただけるよう取り組んでまいります。



イベント概要

名	称	名証IRエキスポ2024
主	催	株式会社 名古屋証券取引所
開	催	日
出	展	企 業 等
入	場	料
		無料

国内制御装置関連事業

売上高 **3,637** 百万円

〔 前年同四半期比 **4.5%増** 〕

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開をしており、監視制御装置、配電盤、変圧器、センサ、ソリューション向け装置および表示器の製造・販売を行っております。当事業を構成するエンジニアリング部門は大きく増収、機器部門、変圧器部門においては減収となり、売上高は3,637百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

構成比

エンジニアリング部門

27.4%

81.6%

変圧器部門
30.9%

機器部門
23.3%

エンジニアリング部門

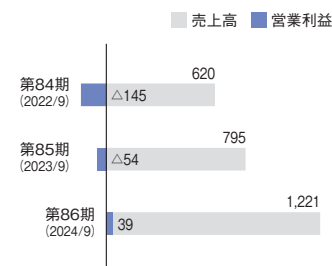
売上高 **1,221** 百万円

前年同四半期比 **53.6%増**

主要製品



売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



機器部門

売上高 **1,036** 百万円

前年同四半期比 **19.5%減**

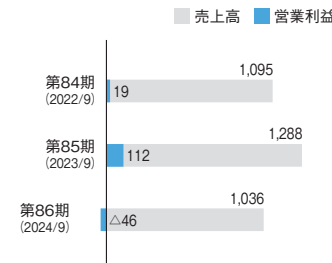
主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器



空間光伝送装置

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



変圧器部門

売上高 **1,379** 百万円

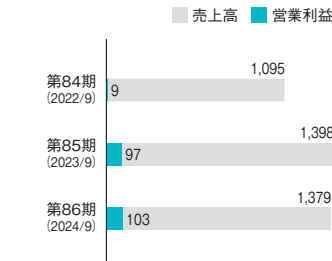
前年同四半期比 **1.3%減**

主要製品

- 乾式変圧器
- モールド変圧器
- 耐雷変圧器
- 始動リアクトル

乾式変圧器
TKH4シリーズ

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



海外制御装置関連事業

売上高 **490** 百万円

[前年同四半期比 **16.0%増**]

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向けの盤関連製品の製造販売や中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。当事業は、南京華洋電気有限公司、Thai Toyo Electric Co.,Ltd.共に為替の影響で増収となり、売上高は490百万円(前年同四半期比16.0%増)となりました。

主要製品

■盤関連製品(南京華洋電気有限公司のみ)

- ・高圧受配電盤
- ・コントロールセンタ
- ・PLC応用制御盤

C型コントロールセンタ



■エレベータ関連製品

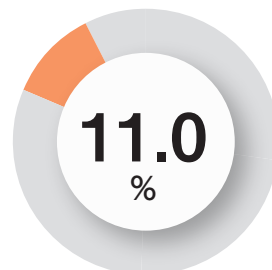
(南京華洋電気有限公司と

Thai Toyo Electric Co., Ltd.)

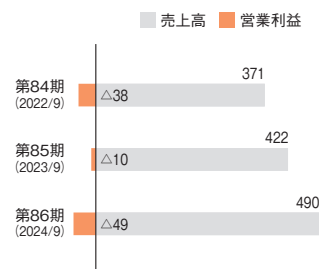
- ・マルチビームセンサ
- ・かご位置確認用センサ

エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

構成比



売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



樹脂関連事業

売上高 **329** 百万円

[前年同四半期比 **7.7%増**]

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、自動車生産工場の在庫調整の影響が緩和されたこともあり、売上高は329百万円(前年同四半期比7.7%増)となりました。

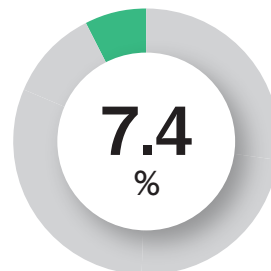
主要製品

- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産

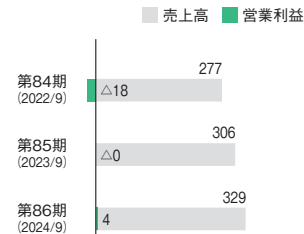


樹脂ペレット

構成比

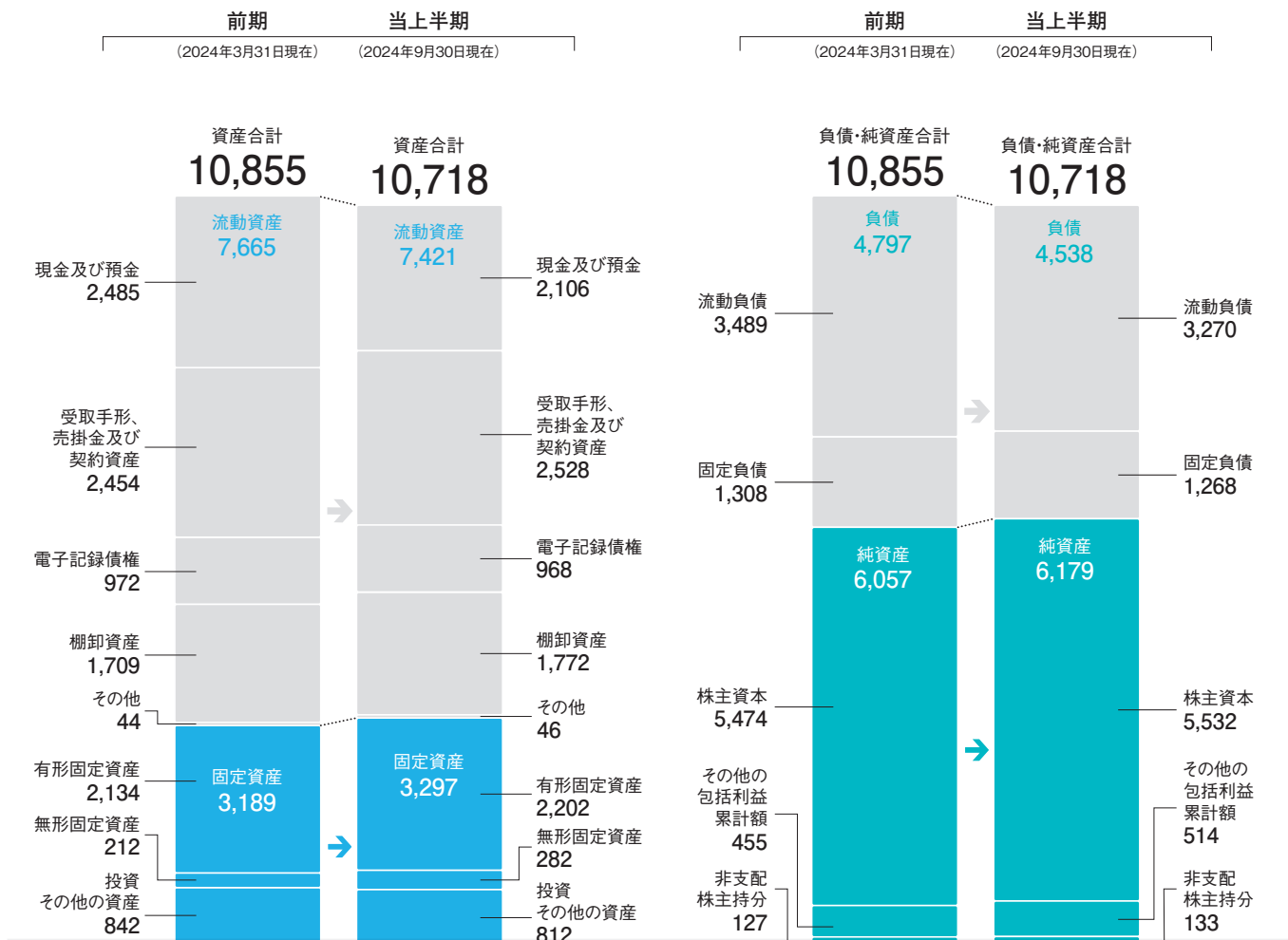


売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

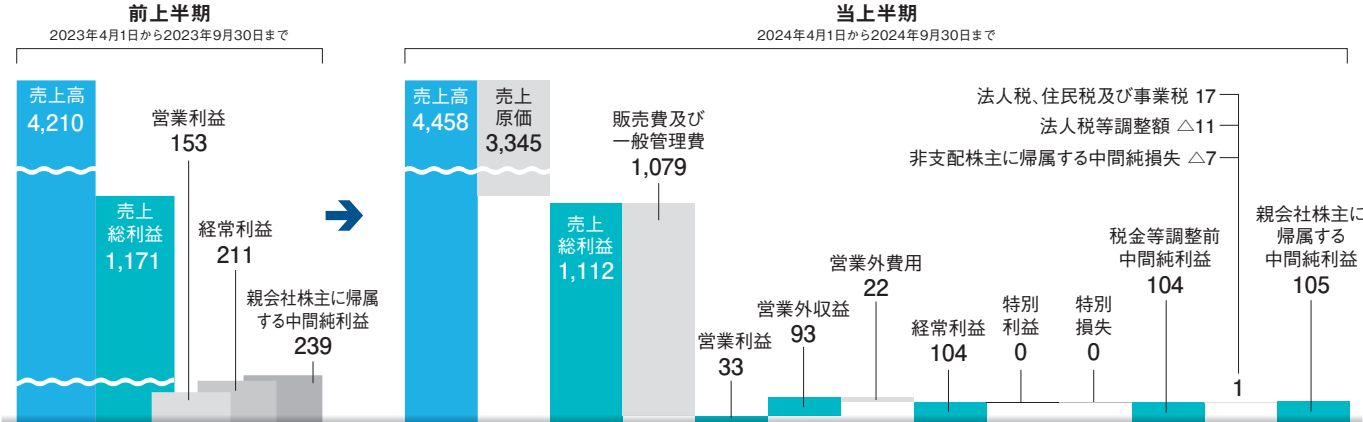


Point

総資産は現金及び預金の減少や受取手形、売掛金及び契約資産の増加などにより前期末比136百万円減少し、負債は電子記録債務の減少などにより前期末比259百万円減少しました。純資産は利益剰余金の増加などにより前期末比122百万円増加しました。

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

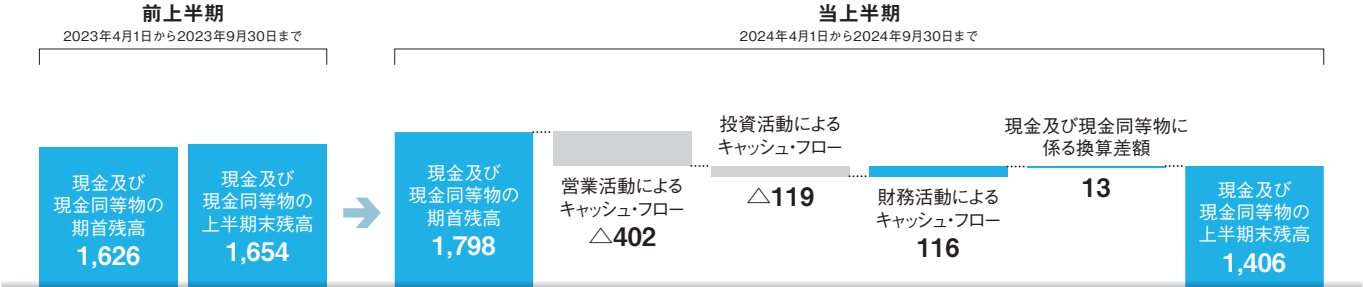


Point

当上半期は、国内制御装置関連事業、海外制御装置関連事業、樹脂関連事業の全ての事業において増収となりました。利益面では、原材料が高騰する中でも原価の抑制に努めましたが、原価率の改善には至らず、人件費の増加や2024年8月20日付のアドバンコーティング株式会社の連結子会社化による取得関連費用などにより、減益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



Point

当上半期における現金及び現金同等物は、前期末比392百万円減少し、1,406百万円となりました。営業活動の結果使用した資金は、仕入債務の減少による支出などにより402百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより119百万円となりました。財務活動の結果得られた資金は、短期借入金の純増加、長期借入金の返済、配当金の支払額による減少などにより116百万円となりました。

株主優待制度変更のお知らせ

～2025年3月31日(基準日)より、株主優待制度が変わります～

1 変更の理由

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施してまいりました。この度、株主の皆様にとって一層魅力あるものとするので、継続して当社株式を保有していただけるよう下記のとおり内容の一部を変更することといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただき、引き続き当社へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2 変更の内容

<変更前>

保有株数	保有期間	優待内容
100株以上	—	クオカード1,000円分

<変更後>

保有株数	保有期間	優待内容
100株以上500株未満	—	クオカード1,000円分
500株以上1,000株未満	—	クオカード2,000円分
1,000株以上	1年未満	クオカード3,000円分
	1年以上3年未満	クオカード4,000円分
	3年以上	クオカード5,000円分

※継続保有期間について

継続保有期間とは、同一の株主番号で株主名簿基準日(毎年3月末日及び9月末日)の株主名簿に下記のとおり、連続で記載または記録されていることをいいます。

- ・1年未満:直近株主名簿に記載または記録が2回以下
- ・1年以上3年未満:直近株主名簿に連続3回以上6回以下記載または記録
- ・3年以上:直近株主名簿に連続7回以上記載または記録

2025年3月期における「1年以上3年未満」の継続保有期間の起算日は2024年3月末、「3年以上」の継続保有期間の起算日は2022年3月末です。

3 変更の時期

2025年3月末日基準の当社株主名簿に記載または記録された株主様を対象とする株主優待より実施いたします。



会社の概況

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
神屋第二工場	〒480-0304 愛知県春日井市神屋町字熊野上1139-53
味美工場	〒486-0968 愛知県春日井市味美町1-8
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)
	アドヴァンコーティング株式会社(愛知県豊明市)
	南京華洋電気有限公司(中華人民共和国江蘇省南京市)
	Thai Toyo Electric Co., Ltd.(タイ王国チョンブリー県)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、名古屋銀行、三井住友銀行
従業員数	個別:222名 連結:407名

役員

代表取締役 社長執行役員	松尾昇光
取締役 常務執行役員	井澤宏
取締役 常務執行役員	加賀美孝
取締役(監査等委員)	加藤茂男
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩
取締役(監査等委員)	井上誠

(注)取締役 葛谷昌浩氏および井上誠氏は、社外取締役であります。

株式の概況

発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式488,843株を含む)
株主数	2,754名

大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	430千株	10.23%
東洋電機取引先持株会	336千株	7.99%
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.52%
株式会社百五銀行	192千株	4.56%
東洋電機従業員持株会	182千株	4.33%
松尾隆徳	173千株	4.11%
松尾昇光	155千株	3.69%
日本生命保険相互会社	125千株	2.97%
三浦陽子	111千株	2.65%
第一生命保険株式会社	87千株	2.08%

(注)持株比率については、自己株式(488,843株)を控除して算出しております。

株主分布図



金融機関	17.07%
金融商品取引業者	0.27%
その他法人	21.56%
個人・その他	61.10%



100単元以上	2.36%
10単元以上	8.21%
5単元以上	4.14%
1単元以上	83.08%
1単元未満	2.21%

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 メイン市場(コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	https://www.toyo-elec.co.jp/

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第86期
中間配当金に関する
お知らせ

第86期中間配当金は、2024年11月7日開催の取締役会で**1株につき10円**と決議いたしました。
なお、配当金の効力発生日ならびに支払開始日は、**2024年12月3日**となります。

(注) [第86期中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知]のご案内は、郵送による発送をやめ、当社Webサイトへの掲載に変更させていただいております。
何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

ホームページのご案内



最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<https://www.toyo-elec.co.jp/>

東洋電機 検索



お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096


GREEN PRINTING JPPI
P-A10007


VEGETABLE
OIL INK